

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋女子大学

2023年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針及び飼養保管基準に基づき、機関内規程及び組織体制図が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
機関内規程に基づき、動物実験委員会が設置され、基本指針に則した委員構成が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
2021 年度外部検証にて「各カテゴリーの委員が複数名となるよう委員増員を検討することが望ましい」との意見が付されたため、2022 年度医療科学部の開設に伴い、新学部から新たに委員を選出・増員した。また、従来、委員長が実験動物管理者を兼ねていたことについては、2022 年度から役割を分離した。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験各種様式

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
基本方針に基づき、機関内規程に動物実験の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、それに従い各種様式も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
2022 年度には動物実験計画申請書の苦痛度分類について、各申請者が「想定される苦痛のカテゴリー」を記入する際の参考資料として、「苦痛カテゴリー検索表」を作成した。また、2023 年度から動物実験計画の複数年度申請の受付を開始するに当たり、「動物実験結果報告書」及び「動物実験（終了・中止）報告書」の両様式を統合して、新たに「終了・中止・経過報告書」を追加し、各年度の使用動物数を報告する欄を設ける予定。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。名古屋女子大学 動物実験規程にその旨明記している。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
名古屋女子大学 動物実験規程に基づき、飼養保管施設等の設置が承認され、飼養保管体制が定められている。また、飼養保管マニュアル及び緊急時対応マニュアルが定められ、飼養保管の体制が適切に整備されている。飼養保管マニュアルについては、継続的に見直しを行っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

2021年度外部検証での調査員からの助言に従い、器具の消毒や廃棄物の処理方法、使用者の入室制限等の項目について見直し、2022年度に飼養保管マニュアルを改定した。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会は、名古屋女子大学 動物実験規程及び名古屋女子大学 動物実験委員会規程に定められた役割を適正に遂行しており、議事録も保管されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 2021 年度外部検証にて「審査方法の統一が望ましい」との意見が付されたため、2022 年 4 月に「動物実験委員会規程」を改正して「迅速審査」を廃止し、審査方法を統一した。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画申請書、動物実験審査結果答申書、動物実験審査結果判定書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、動物実験終了・中止報告書、動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内規程に基づき、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。 2022 年度には 6 件の計画が承認実施されたが、動物実験結果報告書及び自己点検票は、すべて提出済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。事故等の発生はなく、向精神薬は適切に届出され、使用されている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設における実験動物の飼養保管は、名古屋女子大学 動物実験規程及び各種マニュアルに基づき、実験動物管理者のもとで適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内の施設等は、適正な維持管理が実施されている。入退室については、総務課受付で鍵管理台帳を作成し、毎回確認の上貸し出している。飼育室の環境条件の記録台帳（入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿）も適正に維持管理されている。また、委員会による定期的な視察を年1回

実施している。地震等の災害対策については、継続的に対応を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 2021年度外部検証にて「地震等の災害対策へ向けた継続的な対応を期待する」との意見が付されたため、2022年度には災害対策として飼養保管施設内の飼育ラックや冷凍庫等の固定について確認し、担当部署に対応を依頼した。また、2023年3月に新たに増設された動物実験室については、ラット飼育室を経由して入室することになり、マウスを運搬する際には動物種の混在が避けられないため、改善策を検討する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練実施記録、動物実験教育訓練配布資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本方針に即した教育訓練が実施されている。実験動物管理者、実験実施者、飼養者の別に応じた教育訓練として、実験動物管理者は、日本実験動物学会による「実験動物管理者等研修会」を受講している。動物実験実施者（教員）に対しては、eAPRIN「動物実験コース」の受講を義務化しているほか、定期的の実施される外部講師を迎えての教育訓練への参加を求めている。飼養者（学生）に対しては、『解剖生理学実験』の授業内で教育訓練を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 2021年度外部検証にて「eAPRIN『動物実験コース』の内容には一部不足している項目があるので、人獣共通感染症などの不足項目を追加することが望ましい」との意見が付されたため、同コースの修了者を対象に、人獣共通感染症に関する資料を追加で配布することとした。また、2022年4月に「動物実験委員会規程」を改正し、教育訓練項目に「人獣共通感染症」を追加した。2023年3月には外部講師を招聘し、不足部分を含めて研修を実施した。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する自己点検・評価報告書、名古屋女子大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページで必要な情報を公開している。2021 年度外部検証報告書の大学ホームページへの公開により、求められている全項目の情報公開を行った。引き続き、情報公開を進めていく。

4) 改善の方針、達成予定時期

2022 年度から、各委員の専門分野についても大学ホームページで公表することとした。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当しない。